

**地域を照らす春田の活カイベント**

弁城春田地区に数百年にわたって伝えられている伝統行事「六夜様」が9月1日に春田集会所で行われ、参加者が歌や踊りなど、23演目の特設舞台上で披露しました。この催しは、難病が流行したときに祭りをやって厄払いしたことをきっかけに、今では、春田地区の地域おこしイベントとして定着しています。※この祭は福智町振興事業等補助金を活用して行われました。



↑ 熱いパフォーマンスで、おひねりが飛び交うほど会場を沸かせた出演者たち。

↓ 土砂崩れを想定した現場から、手作業で要救助者を救出する福智町消防団員。



**救急の日**にちなみ緊急時の対処法を实践

消防や自衛隊、警察など33機関が参加した田川地区消防本部の「総合防災訓練」が、9月8日に田川市で行われました。これは9月9日の「救急の日」に合わせ、大規模災害を想定した訓練で、田川地区では初の試みです。当日は、関係機関が連携を図りながら、土砂に埋まった人を救助したり、ドクターヘリで患者を搬送したりする訓練を、本番さながらに実践しました。

↓ 雨でぬかるんだグラウンドの変化を計算しながら、ショットを放つプレーヤー。



**雨**もなんのそのでナイスショット連発!

「福智町グラウンドゴルフ大会」の決勝戦が9月8日にふれあいスポーツ公園(神崎)で開催されました。今年各地区の予選大会がすべて雨で中止となり、決勝ラウンドには「くじ引き」の勝者30チームが進出。運と実力を兼ね備えた選手たちが、1人2ラウンド計16ホールで汗を流しました。【結果】優勝：野添D、準優勝：野添A、3位：野添F、4位：上野4区会A

**熟**成された技能を一矢に込めて

福岡県民体育大会の弓道大会が9月22日に福智町弓道場で開かれました。当日は、県内予選で好成績を収めた精鋭射手435人が出場。張りつめた雰囲気の中で呼吸を整えながら的を射抜く快音を響かせ、日ごろの成果を競いました。また、町内からも7人が出場。惜しくも入賞は逃しましたが、地元代表としての誇りを矢に込め、磨き抜いた技を披露していました。



↑ 集中力を高め、28センチ先にある直径36センチの的を目掛けて力強く矢を射る参加者。

↓ 会場の笑いを誘った古今亭志ん丸さんの落語。このあと、打ち合わせなしで町長と即興ライブを披露。



**長**年の社会貢献に感謝の意を

高齢者の長寿を祝い、健康を願う「福智町敬老会」が9月15日に金田体育館で開催されました。本年度の対象者は70歳以上の5,256人で、その内約750人が参加。式典では、町長や来賓から「これからもいつまでも元気に明るく暮らしてほしい」と激励されると、福智町老人クラブ連合会会長の仲村茂俊さん(伊方)が「これからも社会貢献に励んでいきたい」と謝辞を述べ、生涯現役をアピールしました。また、式典後のアトラクションでは、落語や舞踊など3演目が披露され、先輩方の健康長寿を盛大に祝いました。

**子**どもたちも地域づくりの場に参画を

「安全・安心なまちづくり・地域づくり」講演会が9月6日に金田分館で開かれました。講演では、講師の地域活動アドバイザー・十時裕さんが「大人だけでなく、子どもたちを地域づくりの場に関わらせてほしい」と力説。「『将来も住み続けたい』と子どもたちが思えるよう、意見を取り入れ、地域活動にも積極的に参加させてほしい」と声を大にして、訴えていました。



↑ 参加者40人を前に、十時さんが多角的な視点でとらえた「地域づくり」を説明。

↓ 会員8人が大人の心にも届くように、一言一言にメッセージを込めながら朗読。



**大**人の心も揺さぶる絵本のちから

普段絵本を読む機会が少ない大人を対象とした「絵本のつどい」が、9月8日にコスモス保健センターで開かれました。絵本を読む会「ふらんこ」が主催し、命のつながりや親子の絆などを題材にした絵本9冊を、時折涙を浮かべながら感情豊かに朗読。参加者は、温かくて心に染みる絵本の世界に浸り、子どもの頃の感情を懐かしむかのように目を細めていました。